



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年7月31日

上場会社名 エンカレッジ・テクノロジー株式会社
 コード番号 3682 URL <http://www.et-x.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石井 進也

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 飯塚 伸

TEL 03-5623-2622

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	501	7.6	29	80.5	29	80.5	19	81.1
2019年3月期第1四半期	543	25.3	150	184.7	150	172.1	103	189.0

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 19百万円 (81.8%) 2019年3月期第1四半期 108百万円 (126.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	2.85	
2019年3月期第1四半期	15.06	

(注1)「1株当たり四半期純利益」は、信託口が保有する当社株式を期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めて算出しております。

(注2)「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	4,214	3,252	77.2
2019年3月期	4,209	3,357	79.7

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 3,252百万円 2019年3月期 3,357百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		18.00	18.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		0.00		18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,065	10.9	110	71.5	110	71.5	95	64.2	13.83
通期	2,300	1.4	400	29.1	400	29.3	310	23.9	45.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	6,924,200 株	2019年3月期	6,924,200 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	54,832 株	2019年3月期	54,784 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	6,869,405 株	2019年3月期1Q	6,866,714 株

(注)「期末自己株式数」には、信託口が保有する当社株式が含まれております。また「期中平均株式数」の計算において控除する自己株式には、信託口が保有する当社株式の期中平均株式数が含まれております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3.「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、緩やかな景気回復が継続し、雇用や所得環境、企業の業績が高水準を維持しており、日銀短観によると企業のソフトウェア投資の拡大も継続しています。その反面、世界的な地政学的リスクが高まる傾向にあり、米中貿易摩擦や英国のEU離脱問題に絡む経済的な不透明感に加え、ホルムズ海峡における緊張感の高まりや日韓関係の悪化が経済におよぼす影響も不安視されております。

このような状況のもと、当社グループは、製品開発面では「ESS REC」へのAI機能搭載実現に向けた研究開発に努めました。5月には、カスタマーフォーラム第1回分科会を本社セミナールームにて開催し、ESS RECのAI機能(機械学習エンジン)デモンストレーションや技術解説をおこないました。

営業面では、3日間で延べ15万5千人を動員した「Interop Tokyo 2019」への出展に加え、日本カード情報セキュリティ協議会(JCDSC)主催の「PCI DSSセキュリティフォーラム 2019」などに出展し、当社ソリューションの認知度向上及び有効性についての訴求を行ってまいりました。また、6月には「パートナーカンファレンス 2019」を開催し、当社の主要代理店を含めて16社49名にご参加頂き、パートナー様との協業強化に向けた取組みを推進いたしました。

なお、当社の主力製品である「ESS REC」は、ミック経済研究所調査による「システム証跡監査ツール」市場において、10年連続シェア1位を確保し、当社製品の導入企業は610社を超えております。

また、当社は第17回定時株主総会において新任取締役2名の選出により経営体制を新たにするとともに、組織の再編も行い、若手幹部社員の登用や次世代リーダーの育成に向けた取組みを開始いたしました。さらに、人事部門や管理職の拡充を行い、社員一人一人の育成を強化するとともにチームワークによる事業活動の活性化に取り組んでおります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は、501,905千円(前年同期比7.6%減)となりました。また、営業利益は29,313千円(前年同期比80.5%減)、経常利益は29,290千円(前年同期比80.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は19,572千円(前年同期比81.1%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①パッケージソフトウェア事業

当第1四半期連結累計期間におけるライセンス売上は、前年同期における重要インフラ事業者(公共)に対する大型案件や期ズレ案件(前々期からの繰り越し案件の前期においての納品)による反動により対前年同期比で45.9%減少しましたが、ストックビジネスである保守サポートサービス売上とクラウドサービス売上は新規契約及び契約更新が引き続き順調で増加いたしました。また、コンサルティングサービス売上においては前年度の受注残案件を含め着実にサービスを実施したことにより対前年同期比で28.9%増加し、セグメント売上高は472,218千円(前年同期比6.8%減)となりました。セグメント利益は、製品開発を加速させるためシステム開発サービス事業からの人員シフトや組織強化による人員の増加、外注加工費を増加させたことにより176,291千円(前年同期比36.3%減)となりました。

②システム開発サービス事業

システム開発サービス事業は、パッケージソフトウェア事業への統合を加速させたことにより、セグメント売上高は29,687千円(前年同期比19.0%減)となり、セグメント損失は9,900千円(前年同期はセグメント利益6,110千円)となりました。

当第1四半期連結累計期間における報告セグメント販売実績

(単位:千円)

報告セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
うちESS REC (REC)	67,425	49,567
うちその他ライセンス	117,873	50,745
ライセンス	185,298	100,313
保守サポートサービス	246,488	279,783
クラウドサービス	15,778	18,207
コンサルティングサービス	40,304	51,935
SIO常駐サービス	7,631	7,500
その他	11,193	14,478
パッケージソフトウェア事業 計	506,696	472,218
システム開発サービス事業	36,673	29,687
合 計	543,369	501,905

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ4,772千円増加し、4,214,503千円（前連結会計年度末比0.1%増）となりました。主として現金及び預金の増加69,572千円、売掛金の減少68,872千円によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ109,703千円増加し、962,330千円（前連結会計年度末比12.9%増）となりました。主として前受金の増加238,169千円によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ104,930千円減少し、3,252,172千円（前連結会計年度末比3.1%減）となりました。主として利益剰余金の配当124,628千円の支払、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上19,572千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの第1四半期連結累計期間は、計画どおり進捗しており、今後の業績につきましては、引き続き国内外の景気動向にリスクが存在しておりますが、2019年5月10日に公表した業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,523,746	3,593,319
売掛金	201,319	132,446
その他	42,608	43,577
流動資産合計	3,767,673	3,769,343
固定資産		
有形固定資産	49,084	62,508
無形固定資産	65,471	64,546
投資その他の資産	327,501	318,105
固定資産合計	442,057	445,160
資産合計	4,209,731	4,214,503
負債の部		
流動負債		
買掛金	33,865	29,860
未払金	68,606	73,335
未払法人税等	86,958	3,879
前受金	477,741	715,910
賞与引当金	83,886	16,769
役員賞与引当金	-	4,248
その他	68,383	76,162
流動負債合計	819,442	920,166
固定負債		
退職給付に係る負債	6,584	7,019
従業員株式給付引当金	1,000	1,450
資産除去債務	25,600	33,694
固定負債合計	33,184	42,164
負債合計	852,627	962,330
純資産の部		
株主資本		
資本金	507,386	507,386
資本剰余金	489,386	489,386
利益剰余金	2,403,018	2,297,962
自己株式	△57,235	△57,277
株主資本合計	3,342,555	3,237,457
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,548	14,715
その他の包括利益累計額合計	14,548	14,715
純資産合計	3,357,103	3,252,172
負債純資産合計	4,209,731	4,214,503

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	543,369	501,905
売上原価	171,891	205,570
売上総利益	371,477	296,335
販売費及び一般管理費	221,172	267,022
営業利益	150,305	29,313
営業外収益		
受取利息	29	29
確定拠出年金返還金	-	220
雑収入	76	6
営業外収益合計	106	256
営業外費用		
事務所移転費用	-	277
雑損失	3	1
営業外費用合計	3	279
経常利益	150,408	29,290
税金等調整前四半期純利益	150,408	29,290
法人税、住民税及び事業税	39,674	154
法人税等調整額	7,336	9,563
法人税等合計	47,011	9,717
四半期純利益	103,397	19,572
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	103,397	19,572

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	103,397	19,572
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,886	167
その他の包括利益合計	4,886	167
四半期包括利益	108,284	19,739
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	108,284	19,739
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)	四半期連結損益 計算書計上額
	パッケージ ソフトウェア	システム開発 サービス	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	506,696	36,673	543,369	-	543,369
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	19,761	19,761	△19,761	-
計	506,696	56,434	563,130	△19,761	543,369
セグメント利益	276,752	6,110	282,862	△132,557	150,305

(注) 1. セグメント利益の調整額△132,557千円は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)	四半期連結損益 計算書計上額
	パッケージ ソフトウェア	システム開発 サービス	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	472,218	29,687	501,905	-	501,905
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	15,739	15,739	△15,739	-
計	472,218	45,427	517,645	△15,739	501,905
セグメント利益	176,291	△9,900	166,390	△137,077	29,313

(注) 1. セグメント利益の調整額△137,077千円は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。